

科目区分	専門教育科目	科目名	保育相談支援		科目コード	20Y690	担当者	福井 謙一郎			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	後期	単位数	1	担当形態	単独			
			授業区分	演習							
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保護者に対する相談支援の内容と方法を理解する。						1. 「良心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育相談支援の意義と原則が分かる					◎	◎	○	◎	◎	
2.	保護者支援の基本を理解する										
3.	保育相談支援の内容・方法が分かる										
4.	幼稚園、保育園、児童福祉施設の保護者支援の実際について理解する					◎	◎	○	◎	◎	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度 (50%) 実技試験 (50%)					
スライド形式で講義を行う。また、自分なりの考えや対応をグループでの議論や調べ活動を通して発表する。さらには、ロールプレイを通して、保護者支援の実際を学ぶ。											
課題等への対応						授業外学修時間					
ロールプレイ時の課題を教員が即時フィードバックする。						予習：8時間 復習：8時間					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	保育相談支援の意義① 保護者に対する保育相談支援の意義					「教育相談」におけるカウンセリング技術について予習しておく					
第2回	保育相談支援の意義② 保育の特性と保育士の専門性を生かした支援					保育所保育指針の内容を理解しておく					
第3回	保育相談支援の基本 子どもの最善の利益と福祉の重視					「相談援助」科目における児童福祉の内容を復習しておく					
第4回	保護者支援の実態 保護者への理解①（調査）					保護者がどのような悩みを抱えているのか調査しておく					
第5回	保護者支援の実態 保護者への理解②（分類）					前回の調査内容を復習しておく					
第6回	保護者支援の実態 保護者への理解②（発表）					前回の分類内容を復習しておく					
第7回	保護者支援の実際 アイスブレイク					前回の分類内容を復習しておく					
第8回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ①					「教育相談」で扱ったカウンセリングマインドについて復習しておく					
第9回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ②					前回のRP内容から得られた知見を復習し、RPIに活かす					
第10回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ③					前回のRP内容から得られた知見を復習し、RPIに活かす					
第11回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ④					前回のRP内容から得られた知見を復習し、RPIに活かす					
第12回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ⑤					前回のRP内容から得られた知見を復習し、RPIに活かす					
第13回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ⑥					前回のRP内容から得られた知見を復習し、RPIに活かす					
第14回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ⑦					前回のRP内容から得られた知見を復習し、RPIに活かす					
第15回	保護者支援の基本姿勢					RPで得られた技術や知識をまとめる					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	幼稚園教育要領、保育所保育指針					受講生へのメッセージ 保護者との信頼関係の形成には、その人の人柄・人徳など、様々な要因が影響を及ぼします。「この人なら自分の子どもを預けても大丈夫」保護者にそう思われる保育者になれるよう、この授業を通して、今一度自分自身の在り方を見つめましょう。					
参考書等	教材は教員が配布する。										